

公益財団法人MSD生命科学財団 平成30年度事業報告

I. 概況

当財団は、人類の健康・疾病に関する生命科学研究の向上を目的として、平成14年10月に文部科学大臣の認可を受けて設立されました。平成23年4月には公益財団法人としての移行認定を受け、新たな制度下で、生命科学の研究の推奨及び助成とともに、国際交流を担うべき人材の育成に関する事業として、研究者への研究/留学サポート、研究者育成に繋がるシンポジウムの開催等の活動を行っております。

平成30年度は、前年度同様の助成活動を行うとともに、医学領域並びに有機合成化学領域に対する支援内容を検証し、平成31年度より一部リニューアルするための検討も進めてまいりました。

平成30年度に行った事業活動は、次のとおりです。

II. 事業活動報告

1. 医学領域：

実績：18,513万円／予算：18,914万円

1-1. 研究助成

実績：12,957万円／予算：13,138万円

「がん」、「生活習慣病」、「女性研究者支援 感染症」の3領域への研究助成を行った。

(当事業は、「助成(応募型)」並びに「表彰、コンクール」の両事業区分に該当する。)

➤ **がん領域** 【公募期間：4月1日～6月30日】

実績：4,711万円／予算：4,594万円

- 目的 国民の死因第一位である悪性新生物(がん)に対する治療の進展・発展に貢献できる研究への助成を通して次世代を担う研究者の育成を支援する。
- 研究課題 医学系におけるがんに関する独創的な基礎研究または臨床研究
- 募集人数 【若手研究者】10名以内
【スタートアップ】1名
- 研究助成 【若手研究者】1件あたり300万円(150万円×2年間)
平成29年度交付者10名(2年目)及び平成30年度交付者10名(1年目)に助成金(各150万円)を交付した。
【スタートアップ】1件あたり1,000万円(500万円×2年間)
平成29年度交付者1名(2年目)及び平成30年度交付者1名(1年目)に、助成金(各500万円)を交付した。
- 交付者決定/公開 7～9月の選考委員による書類審査を経て、11月にプレゼンテーションによる選考会を開催し、平成30年度【若手研究者】交付者10名、【スタートアップ】交付者1名を決定。その交付者を財団ホームページにて公開した。また、平成31年2月に研究発表会/授与式を行った。

➤ **生活習慣病領域** 【公募期間：4月1日～6月20日】

実績：6,410万円／予算：6,514万円

- 目的 生活習慣病領域の基礎・臨床研究分野における研究者の育成とその研究奨励
- 研究課題 生活習慣病領域の疾病の原因解明と新たな治療法の開発
- 募集人数 20名程度
- 研究助成 1件あたり200万円（100万円×2年間）
平成29年度交付者21名（2年目）及び平成30年度交付者21名（1年目）に、助成金（各100万円）を交付した。
- 交付者決定/公開 7～8月の選考委員による書類審査を経て、9月に3分野（循環器、動脈硬化、糖尿病）ごとの選考委員会を開催し、平成30年度交付者21名を決定。その交付者を財団ホームページにて公開した。また、11月に授与式を行った。
- 万有医学奨励賞 平成28年度交付者の2年間の研究成果報告について、選考委員による書類審査／選考を行い、第7回万有医学奨励賞受賞者6名を選出した。この6名は、11月に開催された『第7回万有医学奨励賞「最優秀賞」選考会』においてその研究成果を発表し、選考委員による選考の結果、最優秀賞（追加助成300万円）大阪大学内分泌・代謝内科学 藤島裕也先生及び優秀賞（追加助成各100万円）5名を決定し、表彰を行った。受賞者は財団ホームページに公開した。

➤ **女性研究者支援 -感染症領域-** 【公募期間：4月1日～7月31日】

実績：1,834万円／予算：2,030万円

- 目的 感染症・ワクチン領域におけるアンメット・メディカル・ニーズに取り組む女性研究者の支援
- 研究課題 感染症の原因解明と診断・治療法及びワクチン等による予防法の開発
- 募集人数 6名程度
- 研究助成 1件あたり200万円（100万円×2年間）
平成29年度交付者6名（2年目）及び平成30年度交付者6名（1年目）に、助成金（各100万円）を交付した。
- 交付者決定/公開 8～11月の選考委員による書類審査を経て、12月に選考委員会を開催し、平成30年度交付者6名を決定。その交付者を財団ホームページにて公開した。また、平成31年2月に授与式を行った。
- 万有医学奨励賞 平成28年度交付者5名は、2年間の研究成果について、12月に開催された「第4回万有医学奨励賞選考会」にて発表し、選考委員による選考を行った。この結果、万有医学奨励賞（追加助成150万円）は、都立駒込病院 田口歩先生に決定し、表彰を行った。受賞者は財団ホームページに公開した。

1-2. 海外留学助成

実績：4,966万円／予算：5,156万円

我が国の学術研究の将来を担う国際的視野に富む有能な研究者を育成・確保するため、優れた若手研究者が海外へ留学し、大学等研究機関において研究に専念できるよう支援するものである。

(当事業は、「助成（応募型）」の事業区分に該当する。)

なお、海外留学助成の募集は、平成30年度をもって終了した。

➤ 生活習慣病領域 【公募期間：6月1日～9月15日】

実績：2,683万円／予算：2,769万円

- 募集人数 6名程度
- 留学助成 1件あたり400万円（400万円×1年間）
平成29年度年度交付者6名に、助成金（各400万円）を交付した。
- 交付者決定/公開 9～10月に各分野（循環器、糖尿病）選考委員による書類審査を経て、12月に選考委員会を開催し、平成30年度交付者6名を決定。その交付者を財団ホームページにて公開した。また、平成31年3月に授与式を行った。

➤ 呼吸器・アレルギー領域 【公募期間：6月1日～9月15日】

実績：2,283万円／予算：2,386万円

- 募集人数 3名程度
- 留学助成 1件あたり600万円（300万円×2年間）
平成28年度交付者3名（2年目）及び平成29年度交付者3名（1年目）に、助成金（各300万円）を交付した。
- 交付者決定/公開 9～10月の選考委員による書類審査を経て、11月に選考委員会を開催し、平成30年度交付者3名を決定。その交付者を財団ホームページに公開した。また、平成31年2月には、授与式に併せて、すでに帰国した平成26、27年度交付者計4名による帰国報告会を行った。

■ 認知度アップのための活動について

事業活動の認知度アップのため、当財団ホームページ掲載に加えて、次の活動を行った。

- 国内の関連大学・医療機関等へポスター・リーフレットを配布
- 関連学会ホームページに掲載
- 医薬業界誌等に対してプレスリリース等を実施

1-3 既存領域への支援内容の再構築の検討

実績：590万円／予算：619万円

生活習慣病、感染症等の疾病への予防、治療等に関する研究進展と優秀な人材の育成について、研究者のニーズに沿った平成31年度プログラムの再構築のため、当該領域の専門家の意見聴取、関係者による準備会を開催した。

2. 有機合成化学領域：

実績：2,316万円／予算：2,282万円

2-1 学術講演会の開催並びに助成

実績：2,050万円／予算：1,942万円

(当事業は、「講座、セミナー、育成」の事業区分に該当する。)

① 各地区シンポジウム

- 平成30年度に計画した有機合成化学分野の5つの学術講演会(福岡、仙台、札幌、名古屋、大津)は、全て盛況に開催された。参加者の合計は、約1,600名であった。
- 名古屋メダルセミナーでは、ゴールドメダルは、プリンストン大学 教授 David W. C. MacMillan 先生、シルバーメダルは、九州大学大学院 教授 安達 千波矢 先生が選出され、平成31年2月に受賞講演と授賞式が行われた。
- 10月に開催した第9回大津会議では、全国から選抜した16名の若手研究者との討論・交流が行われた。
- 従来の支援方法が若手研究者にとって最適なものかどうかについて検証するプロジェクトを立ち上げ、関係者への意見聴取などを行った。

② 万有シンポジウム連絡協議会

- 平成31年度に実施予定の「第29回万有福岡シンポジウム」、「第30回万有仙台シンポジウム」、「第31回万有札幌シンポジウム」について、各組織委員会で内容が決定され、それをうけて有機合成化学シンポジウムの連携と更なる充実を目的とした「万有シンポジウム連絡協議会(野依良治先生他計10名の有機合成化学研究の第一人者で構成)」の第13回会合を平成31年2月に開催した。

2-2 Chemist Award BCA & Lectureship Award MBLA

実績：265万円／予算：340万円

(当事業は、「助成(応募型)」並びに「表彰、コンクール」の両事業区分に該当する。)

【公募期間：6月1日～8月15日】

- 9月に行われた書類選考により「Chemist Award BCA 2018」6名が選出された。
- MBLA 面接選考会は12月に開催され、京都大学高等研究院 深澤愛子先生が「Lectureship Award MBLA 2018」に決定した。
- 前年「Lectureship Award MBLA 2017」を受賞した微生物化学研究所 主席研究員 熊谷直哉先生については、6月開催の「第29回万有仙台シンポジウム」での講演と授賞式、また10月には米国及び欧州の著名な大学、研究所での講演ツアーを行い、その報告・紀行文を有機合成化学協会誌に投稿した(平成31年5月号掲載予定)。

III. 管理業務報告

1. 平成 29 年度事業報告及び決算等について、平成 30 年 5 月 28 日開催の理事会にて承認され、6 月 13 日開催の評議員会において、決算書類が承認された。また、同月 27 日、内閣府に対して定期提出書類の提出を行った。
2. 平成 30 年 4 月の新任理事（4 名）、6 月の任期満了理事（1 名の再任、2 名の退任・うち 1 名は評議員就任）及び 監事（1 名）について、変更登記及び内閣府への認定変更届出手続きを行った。
3. 平成 30 年 5 月に、出捐会社の MSD 株式会社に対し、財団のガバナンスや平成 29 年度事業活動の報告とともに平成 30 年度の活動計画についての説明を行った。
4. 医学領域の助成プログラム再編、有機合成化学領域への継続支援を前提とした平成 31 年度事業計画及び収支予算等について、平成 31 年 3 月 19 日開催の理事会にて承認され、同日に開催された評議員会において報告された。また同月 29 日、内閣府に対して定期提出書類の提出を行った。

※ 本報告書における金額は、人件費・固定費等の共通経費を除く直接費の概算金額である。

以上